

☆ 指導に関する確認事項

1. 平成23年度 県P 審査委員会 で確認。

- ・落語については、題材としてふさわしくない。

2. 平成27年度 県P 第6回理事会 で確認。

- ① 自分の心からわきでた自然体で、品のあるジェスチャーであること。
- ② ジェスチャーは、上体であるのが原則である。

- ・上体の曲げによるジェスチャー、頭でのジェスチャー、手や指を使つてのジェスチャー、(顔の表情)

3. 令和2年度 国頭地区指導者等研修会での質問への回答内容。

(1) 上手・下手はどこか？

下手	舞台	上手
	客席	

相手が、身分が低い、年下・弱い立場の場合、下手を見て話す。

(舞台に立つ児童は、右下を見て話す。)

相手が、身分が高い・年上・強い立場の場合、上手を見て話す。

(舞台に立つ児童は、左上を見て話す。)

舞台の使い方；右側が上手・左側が下手

(舞台の使い方として、話し手と聞き手どちらの立場でも上手と下手は動かない)

(2) おおきなかぶなどを活用できないか。

- ・原作をいじることは著作権の侵害の恐れがある、また、最優秀賞作品を民放ラジオで(公共の電波を使って流している)放送するので著作権に触れるため配慮が必要ということで、教育にかかわる使用でも著作権問題等の確認が必要とのことで、現時点では、教科書や絵本の題材は、難しいとのこと。

4. その他

(1) 内容について

- ① 小学校低学年において「2年以内に最優秀に入った作品は、最優秀にしない。(優秀以下はその限りではない)」に注意。
- ② PTA 連合会発行の大会冊子やDVD等を活用して話材を選ぶ方法もある。
(過去の入賞作品に会話や説明を加える等手直しをしている場合が多い)
- ③ 創作する場合は、「健康的、感動と勇気を与える」「登場人物の性格や心情、行動がよくわかる構成」「会話文と他の文が効果的に表現」等注意。

(2) 所要時間(4分以上5分以内)のめあす

- ① 低学年：1250字程度(演題・学校名・氏名の3行含む)
- ② 高学年：1350字程度(演題・学校名・氏名の3行含む)

(3) 上手・下手の使い分け

年齢、立場、身分を示す。声色やジェスチャーにも関わるので注意。